

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第90号

発行日 2009年5月1日発行

国連工業開発機関 (UNIDO)

こんにちは、近藤です。4月11日にウィーンの国連工業開発機関 (UNIDO) 本部から No2 の浦元事務局長以下、7名の方が視察にいらっしゃいました。

アメリカでも経済再生政策の重要な位置を占めているグリーン産業育成、このグリーン産業の技術を途上国へ移転するための視察です。一行は廃棄物処理に関連する企業、環境に関する各種団体を訪問する中から、自動車リサイクルに関して当社を訪問されたようです。

私はかねてから、モノを生産する動脈産業と、そこからそのモノをさらに延命させ、再生し、再び生産財の原料を供給する静脈産業という、新たな産業について提唱してきましたが、世の中はまさしく、その静脈産業、グリーン産業の育成に向かっているようです。なにしろ、UNIDO が当社へ視察にいらっしゃる

くらいですから、グリーン産業には相当に本腰を入れているのでしょう。私は自動車リサイクルの部分でしか協力できることはありませんが、訴えてきたことが、具現化しそうな形勢になってきたことで、改めて身の引き締まる思いをしています。

ちょうど2ヶ月前にケニアへ行き、自動車リサイクルのプランについて提案した話をしたところ、ナイジェリア担当の方から、今すぐにも、ナイジェリアで実施して欲しいとの要請を受けました。とてもリップサービスとは思えない熱のこもった発言に、こちらのほうが戸惑うくらいです。また、この提案についてはケニア政府のほうから、成功するための支援についてはできる限りのサポートをするとの返答を得ています。アフリカのビジネスと環境貢献が、いよいよ本格的に活動する段階に入ってきました。志を持って一生懸命やれば、大きな協力者が現れてくることを実感し、うれしく思っております。



2009年4月11日(土)

常務取締役 坂井茂夫 さんから

UNIDO視察団&知事 来訪

コメントをいただきました。



今月11日に当社にとって記念すべきお客様をお迎えしました。一方は石川県知事もう一方はウィーンの国連工業開発機関 UNIDO 本部から VIP 7名の来訪を受けました。当日は全社員で歓迎のお出迎えを行い、皆様に自動車リサイクル活動の現場及び IREC (国際リサイクル教育センター) の視察を行って頂きました。自動車リサイクルを通じた発展途上国の環境ビジネス支援を、当社社長が代表理事を勤める内閣府認証 NPO 法人 RUM アライアンスが提案しており、UNIDO 視察団からこの分野を戦略的重点支援分野として取り上げて行く事で今回の視察を得る事になりました。また、UNIDO 視察団の知事表敬に際し、知事からはニッチトップの当社が日本の優れた自動車リサイクル技術をいよいよ世界に発信して行く事に大いなる期待と励ましのお言葉を頂きました。



心と心のリレーエッセイ ～次はあなたの出番です～

◎ 日本と世界の金銭感覚 ◎



・今月の出番・
国際業務部
中野 洋平 さん

皆様、こんにちは。国際業務部の中野です。内容は仕事を通じて、最近感じた私たちがのお金の使い方についてです。

コンビニ業界各社が軒並み増収増益と好調です。タスポ効果によるタバコの店頭販売や、外食費を抑えることにより弁当や惣菜がよく売れるからだそうです。最近のニュースでは低価格商品や生鮮食品の販売にも参入しているようです。このコンビニの利便性を重宝する日本人の一面を良く見ておられた元サッカー日本代表監督のフィリップ・トルシエ氏は、「コンビニが日本の若者をダメにする」と危惧されたそうです。売れ筋商品を並べて購買力を引き出させることは無駄遣いを奨励しているという見方からですが、仏流のお金に対する考え方は、「世の中の散在するモノを買うのではなく、必要なモノだけ補充する為に使う」です。モノが無ければ無いなりに臨機応変に判断し工面するはずが、容易にモノを手に入れられる事で、知恵や労苦を奪ってしまっているのです。世界中のバイヤーさんと広くコミュニケーションをとる私たちは、利便性ばかりを追求せず、世界各国の人々が日本人と同じ感覚でない事もよく理解して、金額の大小に関わらず値段にシビアになり、しっかりした金銭感覚を持ちたいですね。そして、お互いにハッピーになれるビジネスをしてきたいと思っています。

経費削減の事例

～今月は車輜課です～

今月から経費削減についての取り組みをご紹介します。何かのご参考にしていただければ幸いです。世の中の経済が先行き不透明な中、今期から当社も経費削減に重きをおいて取り組んでいます。

今月は車輜課の取り組みをご紹介します。車輜課の経費削減の活動目標として、自社便での引取り台数増加！を掲げて活動しています。活動内容としては、まず前年の自社引取り台数と外注陸送業者の引取り台数の内容を分析しました。それをベースに削減金額目標を立てて、削減金額に応じた自社便での引取り台数目標を決めました。

そして一番大事な活動の部分では、まずお客様の店舗と車輜置き場を地図上に記入する事により、引取り者の誰が見てもわかる様にしました。また、引取り車輛の状態を細かく車輜手配担当者に伝える事の徹底を図る事により、3台（1台/2台積み、クレーン車）有る自社便を効率良く引取る段取りを決める事ができました。引取り者の動きの時間短縮を図り、現在約10%の引取り台数の増加という成果がでています。

今後は、地図上に目的地までの最短ルートと、曜日、時間ごとに混雑するルートを把握し、回避ルートを決めて、もっと自社便引取り台数の増加を図っていきます。それと共に、お客様から依頼されたら最短時間で引取りに行ける様に継続してやっていきます。ご要望やご意見などございましたら、何なりとお申し付けください。



今月のありがとう

～ 忘れられない財産 ～

先月ご紹介しました「ありがとうカード」を今月から詳しくご紹介していきます。非常にご好評をいただきましたので、今月から具体例を随時ご紹介させていただきます。

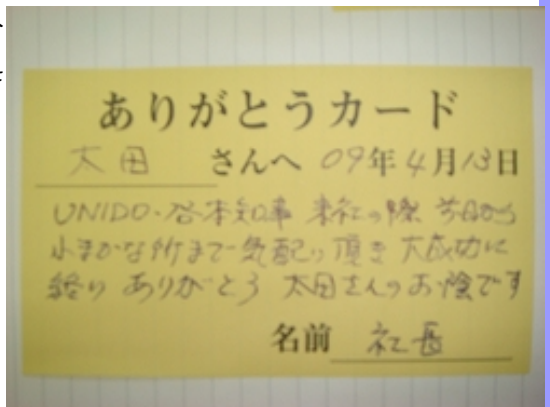
人は思いもかけない「言葉」に一番驚きを感じるのでは・・・。
ましてそれが「ありがとう」という感謝の言葉であれば
感動と喜びに変わります。私は、つい最近その体験をしました。

4月11日のUNIDO一行の視察の準備とお世話に際して
社長より「ありがとうカード」をいただいたことです。予想していな

かったカードに胸が熱くなるのを覚えました。と申しますのは、自分では反省点も多く決して満足の行く出来では

なかったと思っていたからです。ありがとうカードがスタートしまして、沢山の方から毎日のように感動をいただ
いています。忘れられない言葉とは本当に忘れないものなののでしょうか？言葉だけなら、
多分忘れないこともあるし、忘れてしまうこともある。思い出すのに時間のかかることも
あると思います。「ありがとうカード」は文字に書かれたものを顧みることができ、いつ
までも鮮度を保つことができるのではないのでしょうか。

当初カードについては、多少懐疑的であった私も、一つ一つのお礼の言葉が、忘れられ
ない財産になっていくように思われますし、年末までにどれだけ感動をいただけるか楽
しみになっています。



相場はどうなの？ ～生産部より～

こんにちは。会宝産業の山口です。今回より会宝通信が新しくなるという事で新たにスペースを頂く事になりました。ここでは色々な物や素材の相場について少しでも情報をお伝えしていければと思っておりますので、宜しくお願い致します。また、担当別に現場の声も随時掲載していければと思います。

早速ですが、今月はスクラップ素材についての市場をお伝えしていきます。使用済自動車の平均的な価格を左右する指標となっているのが、国内における鉄スクラップの価格でよくH2とか特級とかで呼ばれている鉄素材です。ご存知の方も多いと思いますが、昨年秋には1トあたり約70,000円程だった価格が2009年初頭には10,000円を割り込む程の下落を見せました。それにつられて使用済自動車の市場価格も下落を重ねてきた訳です。



今現在はと言うと、単価も少し持ち直し、国内電路価格も1トあたり18,000円程になってきました。しかしながら、今年1月～3月までの日本の鉄の生産量は40～50%減(昨年比)と非常に厳しい状態が続いております。紙面でも商社筋は上期(4～9月)は期待薄と見ている事も有り、急激な単価の回復は難しいのでは？との意見が多数を占めております。会宝産業では、こうした国内の情勢や輸出も踏まえた上で一番良い出荷方法を常に考えております。お客様に少しでも還元できる事を第一にこれからも頑張っていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

今月のクレーム 『カラーの違い』

皆さんこんにちは、国内部品フロントの大森です。

今月はカラーの違いというクレームがありました。

お客様からいただいた車輛詳細と登録在庫との照合にてお客様にご紹介しているわけですが、いただいた車両情報(車体番号)から年式やカラーを割り出すことができます。

色によっては同じブラックでも純正色、同色の再塗装、色変えの全塗装と種類があります。中古部品となりますと、ごくまれに再塗装でも見分けのつきにくいものがあり、今回は同じブラックだったのですが、キレイな色変えの再塗装で現車と色が少し違うということでご迷惑をお掛けしてしまいました。

車には必ずカラー番号があります。

しかしカラー番号合わせで全く同じ。と思っけても、今回の一件で塗装を見抜く『目』を鍛える良いきっかけを頂きました。

今月もお客様のもとへより良い商品をお届けするよう努めていきます。

申し訳ございません



会宝産業株式会社

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-25
車輛課 (車輛引取り・査定)
電話 076-237-5133
FAX 076-237-1950
Email: info@kaiho.co.jp

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-23-3
部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)
電話 076-237-5138
FAX 076-237-6090
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp>